

学位被授与者氏名	蔣 茜
論文題目	葛藤解決方略と親密感との関係について
論文審査結果の要旨	<p>これまでの葛藤解決過程に関する研究史はよく整理されており、関係性の深化や親密感への影響という観点からうまくまとめられた議論ができています。関係の維持に良い影響をもたらす葛藤解決方略が多数の研究で繰り返し確認されているのに対して、親密感というキーワードを手がかりにして、これまであまり着目されていなかった方略の機能を論じてそれを検討したことで独自性のある研究となった。また、予備調査を行うことで葛藤解決方略の測定方法を詳しく吟味しており、予備調査の結果をもとにして本調査の方法を調整しているところなどは慎重で確実な研究姿勢が現れているといえよう。</p> <p>予測と異なる調査結果になったものの、仮説の論理性はある程度の説得力があり、近接するテーマの研究群の結果も無理なく説明できることなどから、一定の学術的意義はあると評価できる。しかしながら、対象とした関係性を統一できていないことや、葛藤解決方略の選択が親密さに与える影響の因果の方向性があいまいなまま議論、測定されていると感じられる。仮説に沿わない結果も出たことについての考察の書き方は妥当ではあるものの物足りなさも感じられ、「無条件の受容」や「遠慮」することの意味などを含めた情緒的関係の親密化過程における議論も加えることができたと思われる。</p> <p>2021年2月19日に、審査委員全員出席のもとオンライン（Microsoft Teams）で最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>